

防護柵用緩衝装置



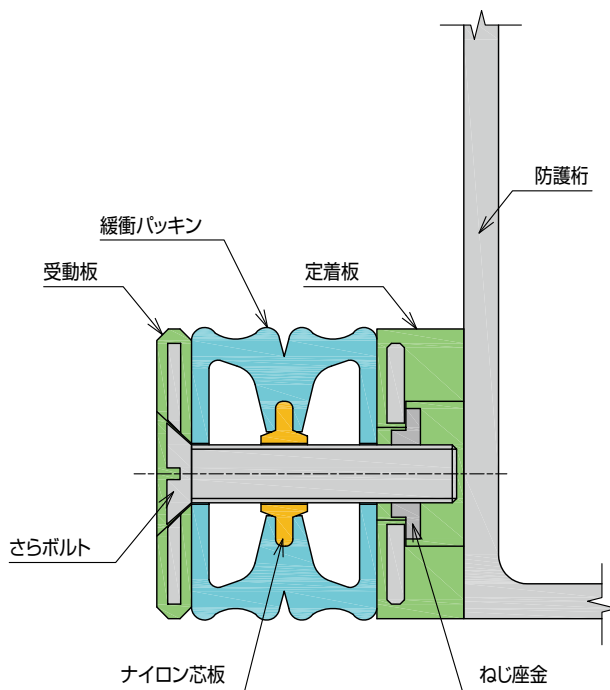
はじめに

高架橋と交差している道路は高さに制限があり、制限を逸脱した車両が通行した際には高架橋と衝突してしまいます。高架橋との衝突を防ぐため、その手前に防護柵が設置されています。

本製品は、防護柵と車両が接触した際に衝撃を緩衝する製品です。



防護柵用緩衝装置取付断面図



製品写真



特長

1. 合成ゴムを使用しているため、長期使用が可能
2. 特殊形状により、コンパクトかつ衝撃吸収力が高い

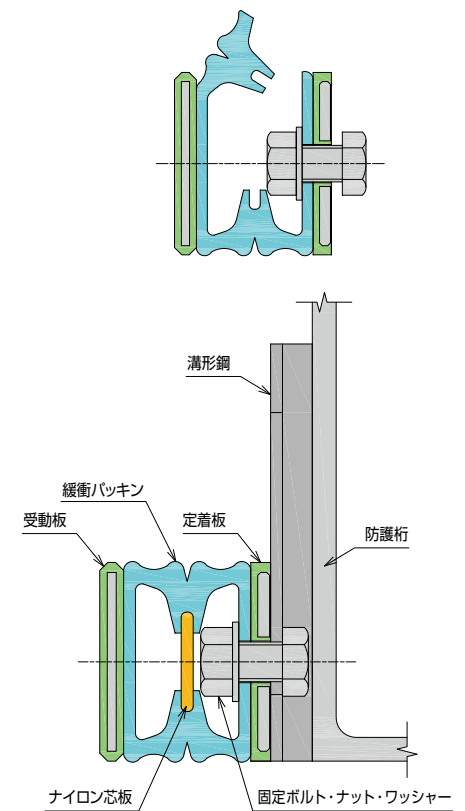
■ ゴム材料の物理的性質（クロロブレン系合成ゴム）

項目	単位	規格値	試験方法	備考	
硬さ	—	A55 ±10	JIS K 6253	NEXCO 構造物施工管理 要領規格（H22）	
伸び	%	300 以上	JIS K 6251		
引張強さ	N/mm ²	15 以上	JIS K 6251		
引裂強さ	N/mm	30 以上	JIS K 6252		
老化 試験	硬さ変化	—	+10 以下		JIS K 6257 70℃×96h
	伸び変化率	%	20 以下		
	引張強さ変化率	%	20 以下		
圧縮永久ひずみ率	%	25 以下	JIS K 6262 70℃×24h		

■ 施工例



■ 溝形鋼取付部



東京ファブリック工業

支店

札幌 盛岡 仙台 宇都宮 新潟 東京 横浜 名古屋
金沢 京都 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島



お問い合わせ先

本店

〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階
URL : <https://www.tokyo-fabric.co.jp/>